

短編を書く勉強の仕方

20260722

エリー



—

目次

1、概要	1
2、A 目的の詳細	2
3、B 対比構造の詳細	4
4、C シーンの詳細	5
5、表現について	6
6、勉強のコツは教えた	7

1、概要

書き方の目安はあるが、表現に答えはない。

●目安のある型から書く

A、目的を決める

誰が、何をして、どんな反応が起きて欲しいか？

B、対比構造を作る

1、何を否定し、何を肯定しているのか？

2、何と何で迷っているのか？

3、似た出来事が3回繰り返され、どんな共通点に気づいたのか？

○物理的な出来事を描く。

○ロジックが問われるため、フクシマ式メソッドで観点をまとめることが役立つ。

C、シーンの情報を整理する

1、事実で状況を伝え

2、反応で期待を伝え

3、認知で結果と再認識を伝え

4、行動で決断を伝える

脳の認知の仕方に沿っているため、読者の負担が少ないからだ。

○主人公の内面を描く。

2、A 目的の詳細

A、目的を決める

誰が、何をして、どんな反応が起きて欲しいか？

●キャラクターの感情を引き出すのが、役者の演技の技術である。

◎参考資料

「世界で一番やさしいスタニスラフスキーシステム 戯曲読解・実践編: 俳優脳を覚醒する役を生きるためのシナリオ読解7つの思考フレーム」(田中徹)

スタニスラフスキーというロシア人が生み出した演技の手法である。

●「感情を引き出す」の対局にあるのが仏教の「心をしずめる」である。

◎参考資料

「反応しない練習 あらゆる悩みが消えていくブッダの超・合理的な「考え方」」(草薙龍瞬)

●自然な反応

演技は、人間の自然な身体的な反応を利用して、役の感情を引き出す。

例えば、人は何かを話す時、目的や期待を持っている。

手料理を作ったなら、相手の笑顔と「美味しい」という言葉を期待し、【自分の体も、期待を受け入れるために変化】している。

つまり、相手から【期待: 喜んでもらえる】前から、自分がまず【反応: 感激を返す準備】を体が先にするのだ。

期待と反応のズレが、葛藤や感動を生む。そして、感情が生まれる。

●過去に縛られない仏教

相手の反応は、過去の言動から予測する。

いつも褒めてくれるなら、褒めてもらえることを期待してリラックスする。

いつも嫌味を言うなら、体を固くして警戒する。

繰り返された日常のやりとりから、先入観が生まれ、決めつけが起きる。

相手も、自分も変化しているのに、身体反応だけが過去の妄想に縛られている。仏教は、そこから自由になることを目指す。

●先入観から予測が生まれ、体が先に反応することで、「予想通り/予想外」というビートの積み重ねが、感情移入を生む。

●つまり小説とは【大目的】を達成するために起きる【小目的】の積み重ねであり、紙一枚の繊細さを積み重ねれば、10万字の長編になる。

3、B 対比構造の詳細

●ズバリ、ロジックが問われる。

自然に書けないなら、国語の基礎を学び直すことになる。

天性のセンスで書けるか、ロジックを学ばねば書けないか。鍵を握るのは対比である

●型は長さで決まる。

○最短はワンシーン

事実、反応、認知、行動

○筋をつけるなら

起承転結

○2時間の映画サイズなら

ハリウッド式シナリオ術

●連続ものの話の長さは、主人公が成功と失敗を繰り返す数で決まる。

●もしシンデレラカーブを起承転結にまとめるなら？

起、最初に小さな成功をする。

→天・地・人の説明を兼ねる。

天は時代＝現代。

地は場所＝日本。

人は人物＝杉下右京。

承、途中、大ピンチに陥る。

→対比構造から起きる葛藤を主人公にぶつける。

転、起死回生の秘策を見つける。

→作者の哲学が主人公に滲み出る。

結、結果が出る。

→作者のメッセージが滲み出る。

4、C シーンの詳細

●生まれつきとまった話し方をする人もいるが、たいていは思いつくまま脈略なく、あっちこっちに話が飛びまぐる。

だから、なに繋がりではじまったか、察することができないと、悩み相談や女子トークについていけなくなる。

彼女たちは、頭のなかで編集して聞くことができるのだ。

女性でも苦手な人はいるが、男性のほとんどは整理されてないと理解できない。目的意識が強いからだ。

◎具体例

A から B を連想して、B から C に飛び、さらに D に飛んだ時、それでも D は A と繋がりを保っている。

A、B、C、D に共通する話題がなにか、理解できないと「いいたいけど、言えないなにか」を受け止めることができない。

そして、「要するに結論はなんなの！」と詰めてしまう。

●整理された話とは、脳の認知機能に沿った時間軸で進む話し方である。

- 1、事実で、目的と状況と課題など「何の話か？」を要約して伝える。
- 2、反応で、主人公が行動することで、相手や周囲に影響を与えて、期待が実現した時の主人公の身体変化を描写する。
- 3、認知で、理想と現実の差を認め、何故なのか考え、理解する。
- 4、行動で、3で理解した【新たな認識】に基づいて決断し、新しい行動をする。

5、表現について

「目的、対比構造、情報の整理」という型で【舗装道路】を作り、道路から見えた景色を描く。

●演出

誇張と省略

- 1、略図で全体の状況を伝える。
- 2、誇張したいことを詳しく描写する。
- 3、書かないと誤解を招くが、本筋ではない要素をさらっと要約する。

●文体

修飾語多めの華美で流麗な文体。

事実だけを積み重ねたヘミングウェイのハードボイルド・スタイル。

書き方はいろいろある。

ここからは、型はなく、作家が自力で生み出す表現の世界である。

●舗装道路を作らず、表現を工夫しても、「内容が分からない」でつまずいてしまう。

「面白い/つまらない」以前に、「分からない」のだ。

6、勉強のコツは教えた

あとはたくさん書くだけである。

ワンシーンから起承転結、そして三幕構成へと習作の規模を広げていく方が、効率がよいとわたしは思うが、向き不向きがある。

ワンシーンだけは苦手な人もいる。

20年以上かけて分かった全てを書いた。わたしもこれから実践していくところである。

短編を書く勉強の仕方 20260722

著 者 ELYE

制 作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
